

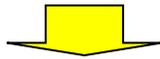
## 『北郷中学校の成果と課題』全国学力学習状況調査の結果から

4月に行われた全国学力状況調査では、国語、数学、生活習慣や学校環境に関する調査が行われました。この調査の目的の1つには、

「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善策に役立てる」があります。小山町全体での分析をもとに、さらに本校でも、この結果を以下のように分析をし、今後の教育活動に活かしていきたいと思えます。

### 国語 《成果○と課題● 今後の取り組み◎》

- 全体として「話すこと・聞くこと」「読むこと」の力がついています。
- 漢字や仮名遣いなどの基礎的な問題は、概ね正答できていました。
- 本校では、書くことにおいて、条件に従って、ある程度まとまった簡単な文をまとめる力がついています。
- 奥付についての問題など、定型の文の書き方について知識が定着していないことがわかります。様々な文の形式に応じて書く力に課題が見られます。
- 長い文章を書くと、条件から内容がずれたり、落としたりする生徒がいます。

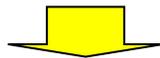


### 《授業の改善・充実に向けて》

- ◎ 定期的に作文の時間を確保し、机間支援や作品に対する評価をその都度行って書く力を高めていきます。
- ◎ 具体的な作文の基準を示し、生徒自身が丸つけや振り返りをする機会を設けることで推敲する力を高めていきます。

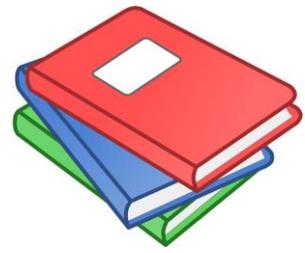
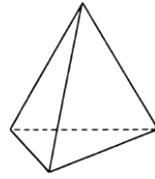
### 数学 《成果○と課題● 今後の取り組み◎》

- データに基づいて説明をする問題が良くできてました。
- 具体的な事象の集計から資料の特徴を読み取ることが得意で、資料の活用が小山町の分析と同様に、よくできていました。
- 空間図形を苦手としている傾向があり、立体図形を展開図や見取り図で表したときに、立体と認識する力に課題が見られました。
- 基本的な計算問題などに課題が見られる生徒がいます。



### 《授業の改善・充実に向けて》

- ◎ 基本的な計算問題などの学習内容については、今後も積み重ねの指導の充実をはかるとともに、理解の程度により助言・指導して、さらに定着を図っていきます。
- ◎ 空間図形については、具体的に図形のモデルを利用したり、実際にモデルづくりをしたり、分解したりする活動を取り入れることで理解を深めていきます。



## 生徒の生活や学習の状況調査から《傾向》

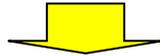
昨年に引き続き、毎日同じくらいの時刻に起きる習慣が身についている生徒が多いです。家で手伝いをする。学校の話をする。地域の行事やボランティアに参加する生徒も多いです。

そして、学校の規則を守る。友だちとの約束を守る。人を助ける。いじめはいけない。人の役に立ちたいといった規範意識が高い生徒が多いです。

その反面、難しいことでも挑戦する積極性に乏しく、昨年に引き続き、将来への夢や目標をはっきりと持っている生徒は少なく、自分にはよいところがあるなどの自己肯定感・自己評価が低い生徒が多いです。

また、家で2時間以上勉強する生徒が多いですが、自分で計画的に学習する生徒は少ない傾向にあります。

## 《改善・充実に向けて》



行事や学校生活を通して、自己肯定感をさらに高めていきたいと思えます。また、生活全体を通して、生徒をほめる、または、生徒同士が認め合う活動に意識して取り組んでいきます。

授業では、さらに発言する場を持つこと、説明すること、振り返りをするを継続して行い、課題解決に粘り強く取り組む生徒を育てていきます。引き続き、家庭学習・自主勉強を励行し点検していきます。

また、職場見学や職場体験、キャリア教育を通して、自己を見つめていく学習を展開していきます。

※ ぜひ、ご家庭でもお子様をほめることをたくさんしていただき、会話もたくさんしていただきたいと思えます。また、世の中の出来事やニュースに関心がある生徒が増えてきています。引き続き、新聞やニュース等にふれる機会をご家庭でも多く持っていただくようお願いいたします。